

大 使 館 情 報

2024 年 3 月

【目次】

1. ブラジル・マクロ経済情勢

- (1) 経済情勢
- (2) 経済政策等
- (3) 金融政策
- (4) 為替市場
- (5) 株式市場

2. ブラジル政治情勢（1 月の出来事）

【内政】

- (1) レヴァンドフスキ法務・治安大臣の就任
- (2) 連邦警察（PF）によるボルソナーロ前大統領等への家宅搜索実施
- (3) ディーノ連邦最高裁判所（STF）判事の就任
- (4) サンパウロ市内でボルソナーロ派の大規模集会の開催

【外交】

- (1) 伯マレーシア首脳電話会談
- (2) 伯エジプト首脳会談
- (3) ルーラ大統領のアフリカ連合首脳会議への出席
- (4) G20 リオデジャネイロ外相会合の開催、日ブラジル外相会談の実施
- (5) ルーラ大統領のカリコム首脳会議への出席

3. トピックス

- (1) 令和 5 年度天皇誕生日祝賀レセプションの開催（2 月 7 日）
- (2) 令和 5 年秋の邦人叙勲伝達式の開催（2 月 28 日）

4. 大使館からのお知らせ

- (1) 在伯公館 SNS リンク一覧
- (2) 外務省 海外安全ホームページ
- (3) ブラジル渡航情報

1. ブラジル・マクロ経済情勢

(1) 経済情勢（2月発表の経済指標） ※GDP 成長率は3月発表

- (ア) 2023年の実質 GDP 成長率は前年比+2.9%となり、同年第4四半期では前期比0.0%、前年同期比+2.1%となった。
- (イ) 12月の鉱工業生産は前月比+1.1%、前年同月比+1.0%となった。2023年では前年比+0.2%となった。
- (ウ) 12月の小売売上高は前月比▲1.3%、前年同月比+1.3%となった。2023年では前年比+1.7%となった。
- (エ) 1月の拡大消費者物価指数（IPCA）は前月比+0.42%となった（前月：+0.56%）。12か月累計では+4.51%となった（前月：+4.62%）。
- (オ) 失業率（2023年11～2024年1月）は7.6%となり、3か月前（2023年8～10月）の7.6%から横ばいとなった。また前年同期（2023年11月～2023年1月）の8.4%から0.8%ポイント低下した。
- (カ) 伯中央銀行が週次で発表しているエコノミスト等への調査（Focus 調査）について、2月23日時点で、GDP 成長率予測については、2024年は+1.75%（前週から0.07%ポイント上昇）で、2025年は+2.00%（前週から変わらず）となった。インフレ率については、2024年は3.80%（前週から0.02%ポイント低下）で、2025年は3.51%（前週から0.02%ポイント低下）となった。

(2) 経済政策等

2月6日、財務省は所得税の非課税対象枠の上限を月額2,824リアルへ引き上げる暫定措置を発表した（変更前は2,640リアル）。

(3) 金融政策

次回伯中央銀行金融政策委員会（Copom）は3月19日及び20日に開催予定。

(4) 為替市場（レートは伯中銀の公表値から算出）

- (ア) 2月の為替市場は4.93～5.01リアル/ドルで推移。
- (イ) 月の前半は4.93～5.01リアル/ドルで推移。海外の金融政策の見通しを材料に上下した後、概ね横ばいで推移した。
- (ウ) 月の後半は4.93～4.98リアル/ドルで推移。伯経済や海外の金融政策の見通し等を材料に上下し概ね横ばいで推移した。

(5) 株式市場

- (ア) 2月の株式市場は127,018～131,689ポイントで推移。
- (イ) 月の前半は127,018～130,416ポイントで推移。内外の金融政策の見通しや国内経済の動向等を材料に上下し概ね横ばいで推移した。
- (ウ) 月の後半は128,726～131,689ポイントで推移。資源価格の動向や海外経済の動向等

を材料に概ね上昇傾向で推移した。

2. ブラジル政治情勢（2月の出来事）

【内政】

（１） レヴァンドフスキ法務・治安大臣の就任

2月1日、レヴァンドフスキ元 STF 判事の法務・治安大臣への就任式が執り行われた。同大臣は就任式で、伯の治安問題、特に犯罪組織の撲滅などについて就任演説を実施した。

（２） 連邦警察（PF）によるボルソナード前大統領等への家宅搜索実施

2月8日、連邦警察（PF）はクーデターを画策した疑いのある関係者調査のため、ボルソナード前大統領や元閣僚及び PL 党本部などの家宅搜索を実施した。ヴァルデマル・コスタ・ネット PL 党首の自宅も搜索され、搜索の過程で銃不法所持により同党首は現行犯逮捕された。同党首は高齢等を理由に2日後に釈放された。これら家宅搜索の結果、PL 党本部からはクーデターに関する大統領令の草案が発見された。

（３） ディーノ連邦最高裁判所（STF）判事の就任

2月22日、ディーノ前法務・治安大臣の STF 判事への就任式が執り行われた。就任式には、ルーラ大統領、リラ下院議長、パシェコ上院議長らが出席した。

（４） サンパウロ市内でボルソナード派の大規模集会の開催

2月25日、サンパウロ市内で、ボルソナード前大統領の支持者による大規模集会が開催された。パウリスタ大通りがサッカー伯代表のユニフォームを着た大勢の支持者で埋め尽くされ、ボルソナード前大統領の人氣が健在であることが示された。ボルソナード前大統領は、伯代表のユニフォームを着て、約25分間にわたって演説を行った。

【外交】

（１） 伯マレーシア首脳電話会談

2月9日、ルーラ大統領は、アンワル・マレーシア首相と電話会談を実施。両首脳は、両国間の貿易関係拡大の可能性、不平等と飢餓の闘い、ガザ地区の紛争の停戦、グローバル・ガバナンス改革について協議。

（２） 伯エジプト首脳会談

2月15日、ルーラ大統領は、今年初の外国訪問として伯エジプト外交樹立100周年であるエジプトを訪問し、エルシーシ・エジプト大統領と会談を実施。会談では、二国間貿易、中東紛争、アフリカ諸国の対外債務問題、BRICS 等について協議。

(3) ルーラ大統領のアフリカ連合首脳会議への出席

2月18日、ルーラ大統領は、第37回アフリカ連合首脳会議に出席するため、エチオピアを訪問。ルーラ大統領は、「私にとって、最も重要な外国訪問の一つである。なぜならほとんど全てのアフリカ諸国と一度に話すことができたからである」と発言。また、同首脳会議の傍ら、シュタイエ・パレスチナ首相、ルト・ケニア大統領、ティヌブ・ナイジェリア大統領、メンフィ・リビア首脳評議会議長とそれぞれ首脳会談を実施。

(4) G20 リオデジャネイロ外相会合の開催、日ブラジル外相会談の実施

2月21日及び22日、G20 リオデジャネイロ外相会合が開催された。会合では、イスラエル・パレスチナ情勢、不平等と飢餓との闘い、グローバル・ガバナンス改革等について協議。G20 リオデジャネイロ外相会合に出席するために訪伯したブリンケン米国務長官、ラブロフ露外相はそれぞれルーラ大統領への表敬を実施。

なお、G20 外相会合に出席するために訪伯した上川外務大臣は、ヴィエイラ外相との間で外相会談を実施し、ウクライナや中東情勢、女性・平和・安全保障（WPS）、安保理改革を含むグローバル・ガバナンス改革、環境・気候変動、来年2025年の日ブラジル外交関係樹立130周年等につき意見交換を行った。

(5) ルーラ大統領のカリコム首脳会議への出席

2月28日、ルーラ大統領は、第46回カリコム首脳会議に出席するため、ガイアナを訪問。ルーラ大統領は、カリブ諸国に対し、伯G20議長国としての主要な取組の一つである「飢餓及び貧困に対抗するためのグローバル・アライアンス」への参加を呼びかけた。また、同首脳会議の傍ら、ルーラ大統領は、伯・ガイアナ・スリナム3か国首脳会談、伯ガイアナ首脳会談を実施。

3. トピックス

(1) 令和5年度天皇誕生日祝賀レセプションの開催（2月7日）

2月7日、大使公邸にて、令和5年度天皇誕生日祝賀レセプションが開催された。マルコス・アントニオ・アマーロ・ドス・サントス大統領府安全保障室長官をはじめとするブラジル連邦政府関係者、ルイス・ニシモリ連邦下院議員（伯日議連会長）をはじめとする連邦議員9名、DF政府、連邦・州議会、日系社会、民間企業、教育・文化・スポーツ関係、外交団等、約370名の出席者を得て、天皇誕生日を祝賀するとともに、交流が盛況に行われた。

林大使は、昨年9月末に発表された訪日ブラジル人の短期査証免除を受け、より人的交流を活性化していきたい旨述べ、また本年はブラジルでG20関連会合が多くあることから、活発な要人往来の機会を利用し、更なる日伯関係強化への強い期待を表明した。林大使による挨拶全文は[こちら](#)。

会場では、進出企業支援の一環として、ブラジルで活躍する日本関係企業5社（トヨタ・ホンダ・HPE（スズキ・三菱）・アシックス・イグアスコーヒー）が自社製品や技

術の紹介を行った。さらに JAL、ANA、JTB、日本政府観光局（JNTO）が共同ブースで訪日観光プロモーションを行った。

さらに、現在日本が「伝統的酒造り」を 2024 年のユネスコ無形文化遺産登録に提案中であることを踏まえ、当館厳選の日本酒 3 種、及びチョーヤ社提供の梅酒や柚子酒も振る舞った。加えて和食のプロモーションとして天ぷら・寿司・和食ビュッフェ、抹茶アイス等が提供された。



大使スピーチ



乾杯



日本酒ブース



イグアスコヒー



アシックス



ホンダ



観光ブース



トヨタ



三菱自動車



スズキ

(2) 令和5年秋の邦人叙勲伝達式の開催(2月28日)

2月28日(水)、在ブラジル日本国大使館大使公邸にて、令和5年秋の邦人叙勲で旭日単光章を受章された矢田正江氏に対し、叙勲伝達式が開催された。長年にわたるブラジルでの日本語教育への大きな貢献に改めて深く感謝し、栄えあるご受章を心からお祝い申し上げます。(林大使による挨拶は[こちら](#)をご覧ください。)



矢田氏と林大使



関係者の皆様とともに

4. 大使館からのお知らせ

(1) 在伯公館 SNS リンク一覧

在ブラジル大使館をはじめ各総領事館及び領事事務所では、SNS にて文化イベントを含め最新情報等を随時更新しています（以下リンク先をご参照ください）。

在ブラジル大使館：[facebook](#) [instagram](#) [YouTube](#)

在ベレン領事事務所：[facebook](#)

在マナウス総領事館：[facebook](#)

在レシフェ総領事館：[facebook](#) [instagram](#)

在リオデジャネイロ総領事館：[facebook](#) [instagram](#) [YouTube](#)

在サンパウロ総領事館：[facebook](#) [YouTube](#)

在クリチバ総領事館：[facebook](#) [Instagram](#) [YouTube](#)

(2) 外務省 海外安全ホームページ

(ア) 各国の危険情報や安全対策等海外赴任、出張及び旅行をする際の留意点を公開しています。

<http://www.anzen.mofa.go.jp/>

(イ) 各公館で四半期毎に「海外安全対策情報」を公開しています。在伯大使館の情報（令和 5 年度第 3 四半期）は以下のリンク先から。

https://www.br.emb-japan.go.jp/itpr_ja/kaigai_anzen_taisaku.html

(ウ) 各在伯公館が「在外邦人向け安全の手引き ブラジル」を作成し公開しています。

https://www.anzen.mofa.go.jp/manual/brazil_manual.html

(3) ブラジル渡航情報

(ア) 危険情報

最新更新日：2023 年 12 月 6 日

http://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcinfectionspothazardinfo_259.html

以下の地域が「レベル 1：十分注意してください。」となっています。

- ・ブラジリア連邦区
- ・サンパウロ州大サンパウロ圏及びカンピーナス市
- ・リオデジャネイロ州大リオ圏
- ・エスピリトサント州大ビトリア圏
- ・アマゾナス州大マナウス圏
- ・ロライマ州北部
- ・パラ州大ベレン圏
- ・ペルナンブーコ州大レシフェ圏
- ・バイーア州大サルバドール圏

- ・セアラ州大フォルタレーザ圏
- ・パラナ州大クリチバ圏
- ・リオ・グランデ・ド・スル州ポルトアレグレ市

(イ) 安全対策基礎データ

最新更新日：2023 年 8 月 10 日

https://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcsafetymeasure_259.html

主要各州、都市毎の犯罪発生状況、防犯対策及び滞在時の留意事項等に加え
査証、出入国審査及び新型コロナウイルス関連情報や大使館、総領事館の緊急連
絡先を公開しています。

(ウ) テロ・誘拐情勢

最新更新日：2023 年 4 月 11 日

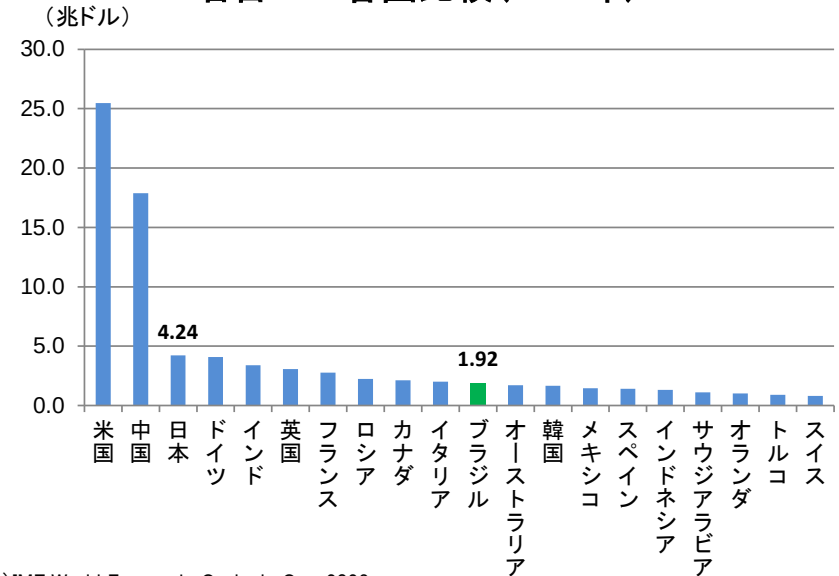
https://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcterror_259.html

ブラジル経済・二国間経済関係概観

1. 経済構造

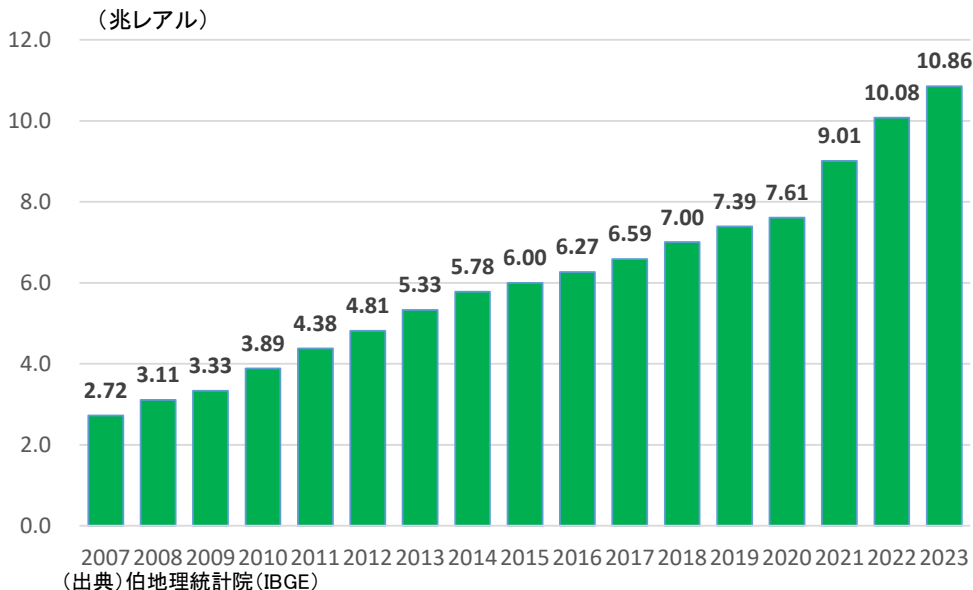
1. 人口約2億300万人、面積約851万km²(2022年国勢調査)
2. 世界第11位の経済規模(名目GDP約1.92兆ドル(2022年):日本の約45%)。一人当たりGDP(約9,455ドル(2022年))は、日本の約28%。
3. 世界有数の農業・資源国であるが、産業別国内総生産(GDP)額では第三次産業(サービス業)が高いウェイトを占めている。
4. GDPを需要項目別でみると、家計消費や総固定資本形成(投資)といった内需が成長に寄与している。

名目GDP各国比較(2022年)

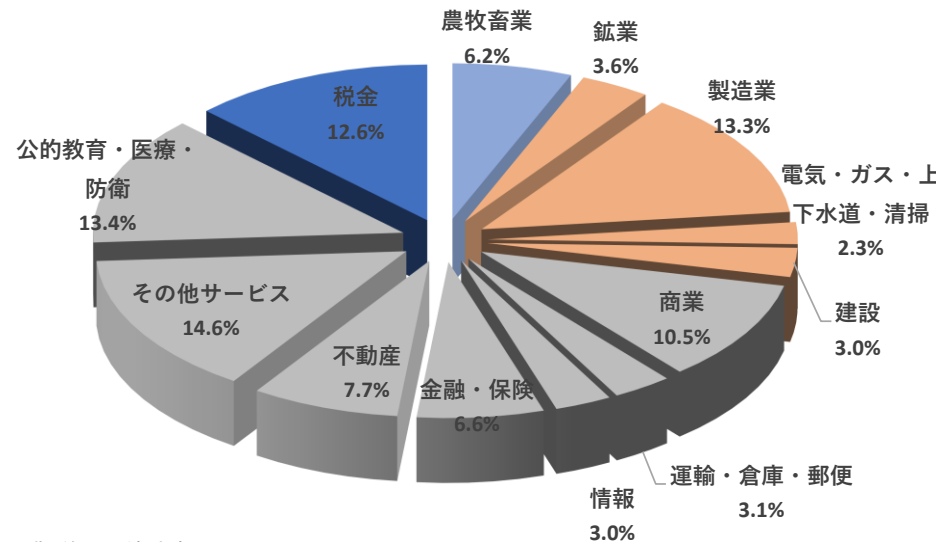


(出典)IMF World Economic Outlook, Oct, 2023

名目GDPの推移



名目GDPの産業別構成比(2023年)

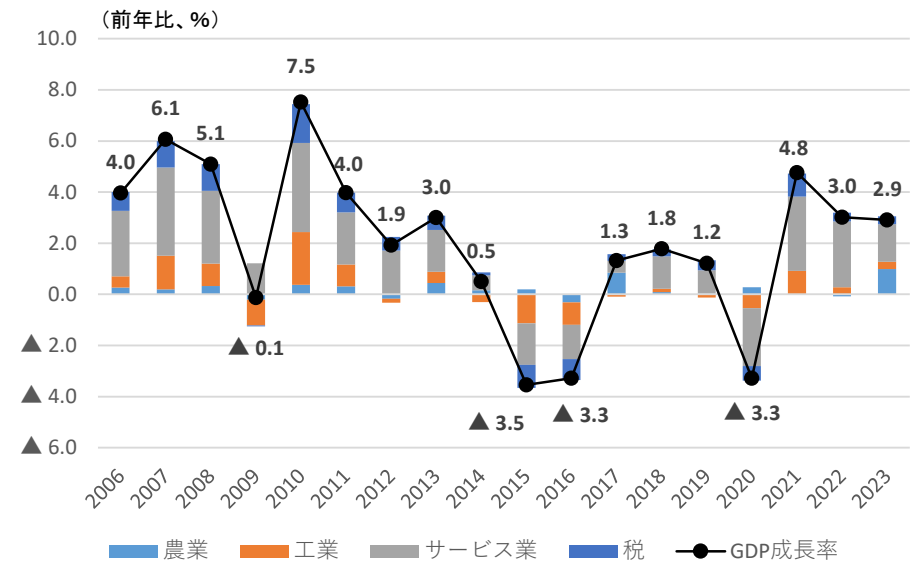


(出典) 伯地理統計院 (IBGE)

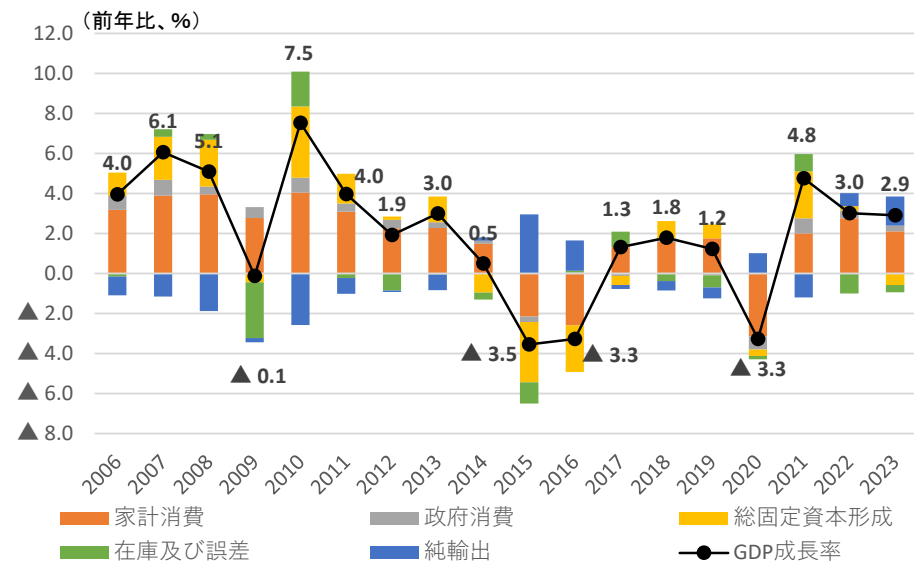
II. 経済の現状

ブラジル地理統計院(IBGE)が3月に発表した2023年の実質GDP成長率は前年比2.9%(3年連続のプラス)、また同年第4四半期は前期比0.0%(2四半期連続の横ばい)、前年同期比+2.1%(12四半期連続のプラス)となった。

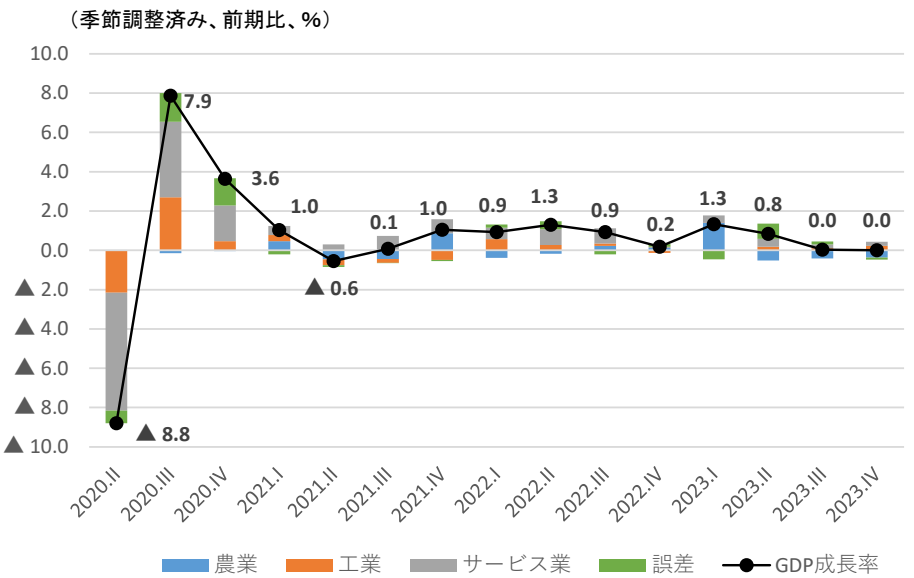
実質GDP成長率と産業別寄与度の推移(暦年)



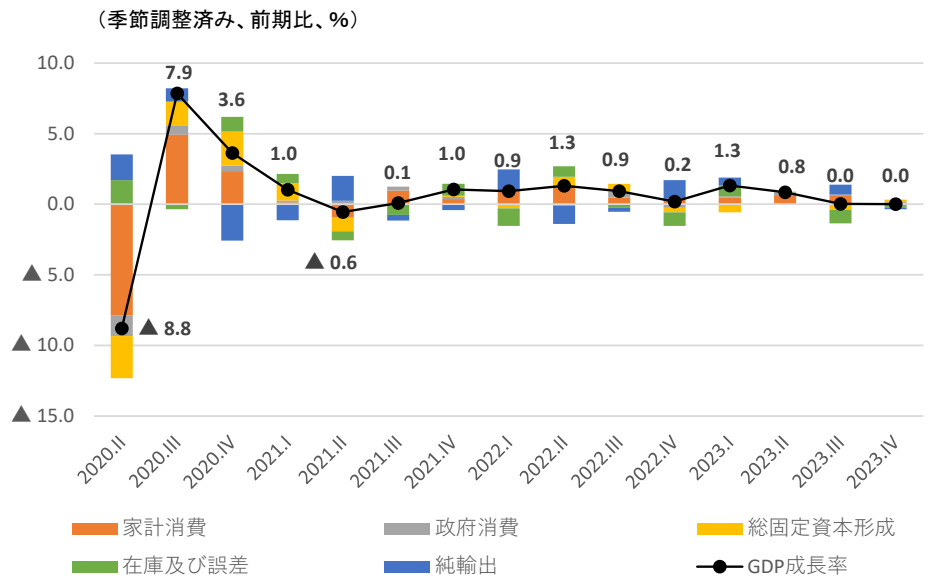
実質GDP成長率と需要項目別寄与度の推移(暦年)



実質GDP成長率と産業別寄与度の推移(四半期)

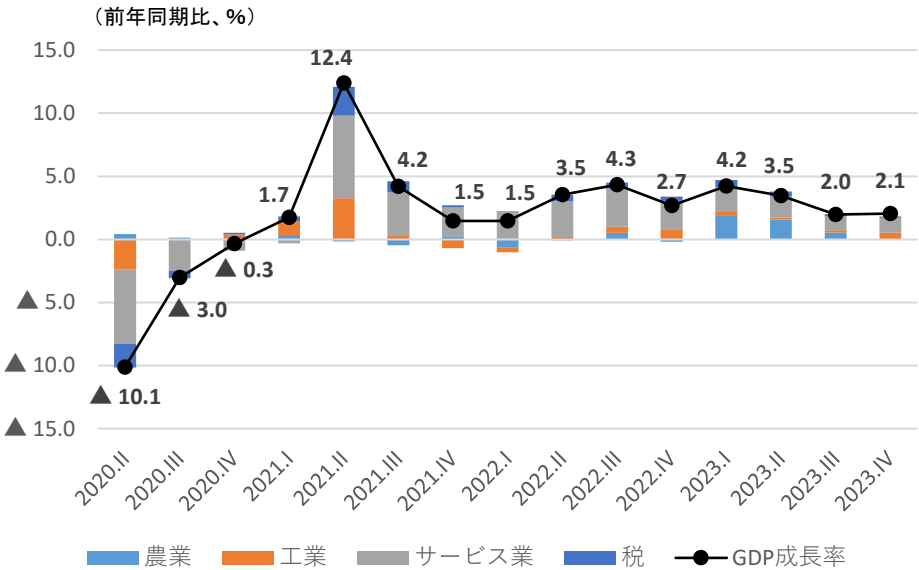


実質GDP成長率と需要項目別寄与度の推移(四半期)

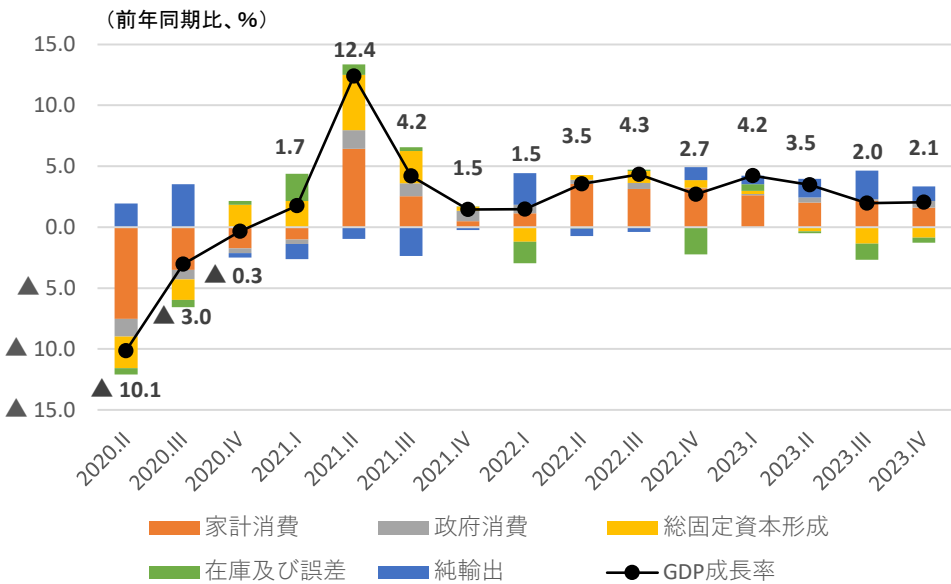


※寄与度はIBGE公表値から当館にて試算、「誤差」、「在庫及び誤差」はGDP全体から各項目を除いたもの。(出典) 伯地理統計院(IBGE) 2

実質GDP成長率と産業別寄与度の推移(四半期)



実質GDP成長率と需要項目別寄与度の推移(四半期)



※寄与度はIBGE公表値から当館にて試算、「在庫及び誤差」はGDP全体から各項目を除いたもの。(出典)伯地理統計院 (IBGE)

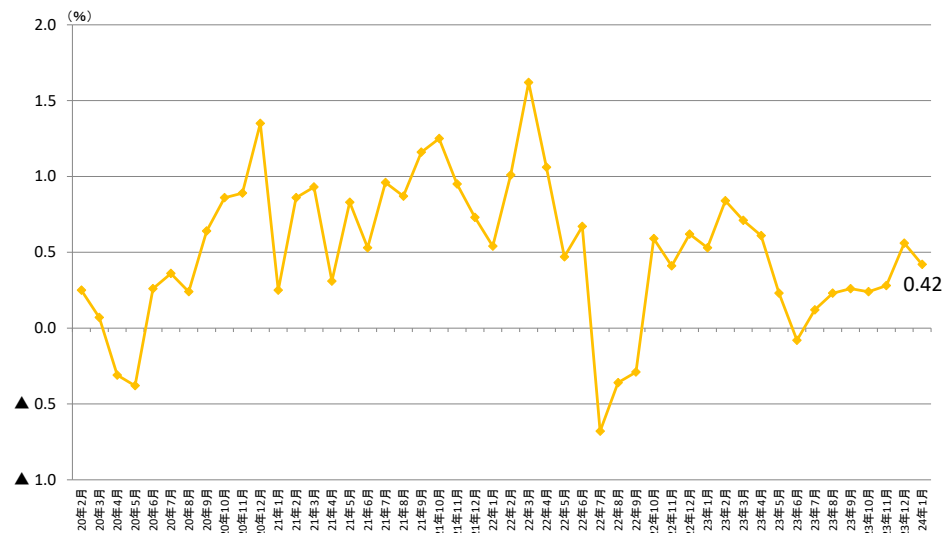
《各機関によるGDP成長率見通し》

	2024	2025
IMF (2024年1月)	+1.7%	+1.9%
伯財務省 (2024年1月)	+2.2%	-
伯中銀 (2023年12月)	+1.7%	-
伯中銀Focus (2024年2月23日)	+1.75%	+2.00%

物価の動向と政策金利

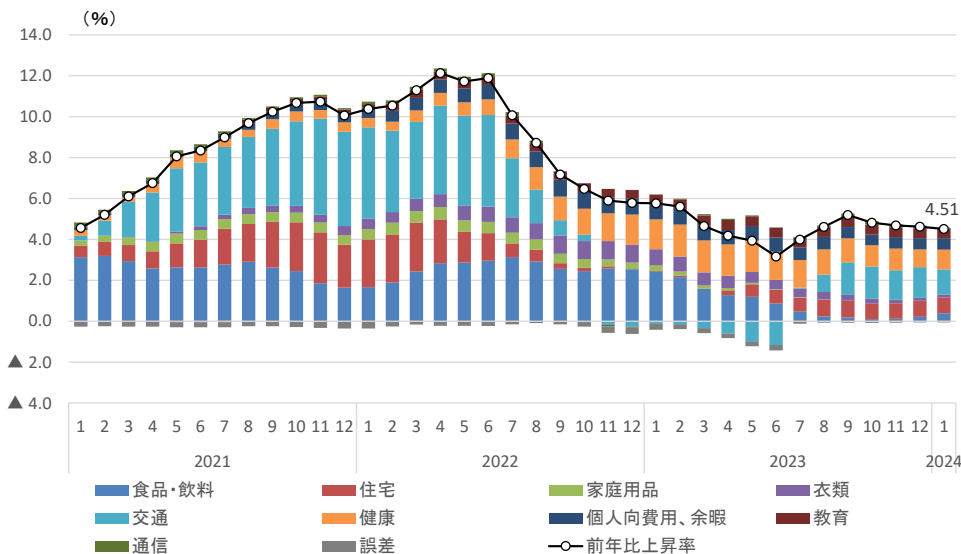
1月の拡大消費者物価指数(IPCA)は前月比+0.42%、2023年では+4.51%となった。

拡大消費者物価指数(IPCA)上昇率の推移(各月)



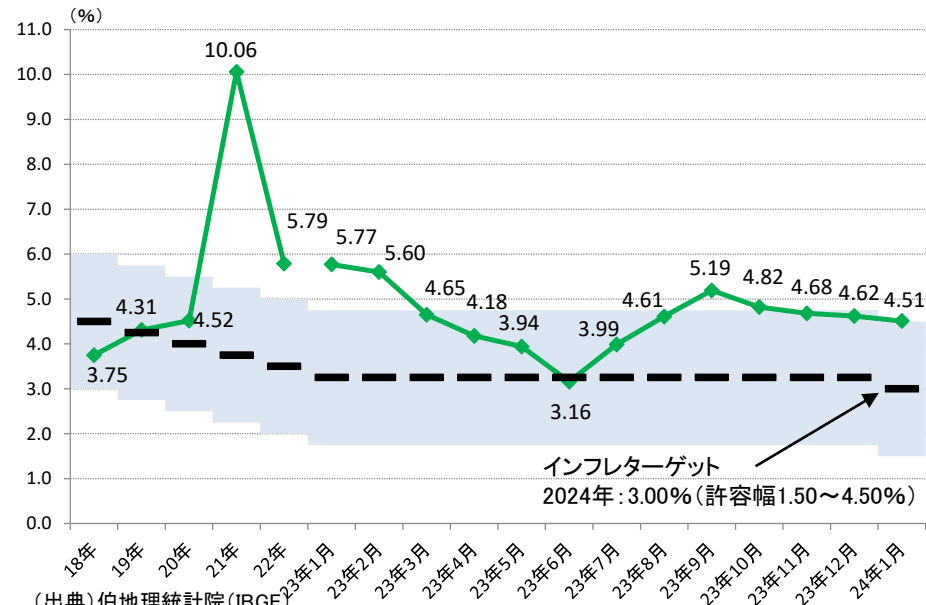
(出典) 伯地理統計院 (IBGE)

拡大消費者物価指数(IPCA)上昇率の項目別寄与度



※寄与度はIBGE公表値から当館にて試算、(出典) 伯地理統計院 (IBGE)

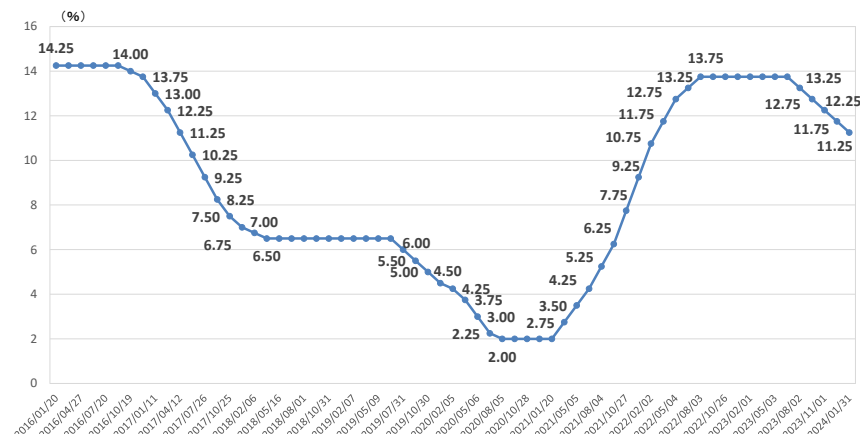
拡大消費者物価指数(IPCA)上昇率の推移(12か月累計)



(出典) 伯地理統計院 (IBGE)

政策金利の推移(2016年～)

次回の伯中央銀行金融政策委員会(Copom)は3月19日及び20日に開催予定。

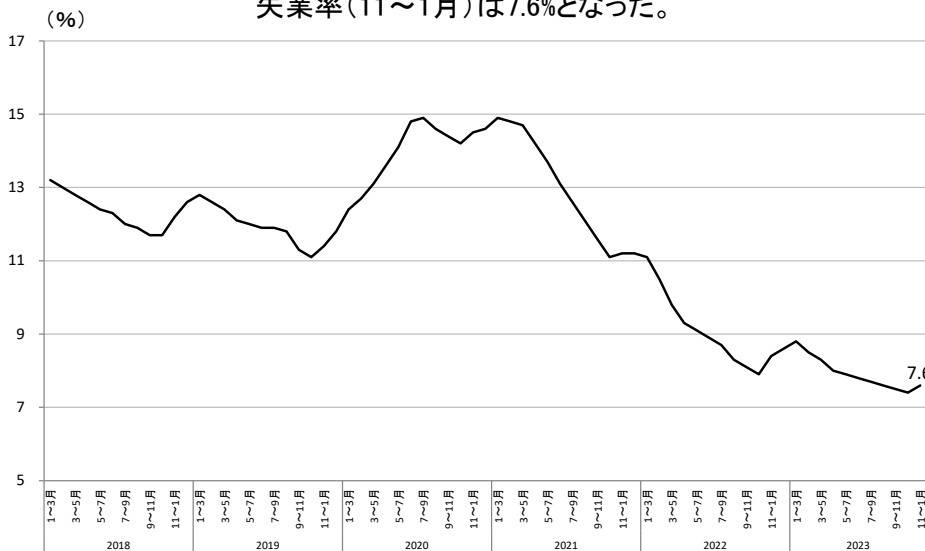


(出典) BCB

労働市場、消費、生産、財政収支の動向

失業率の推移(3か月移動平均)

失業率(11～1月)は7.6%となった。

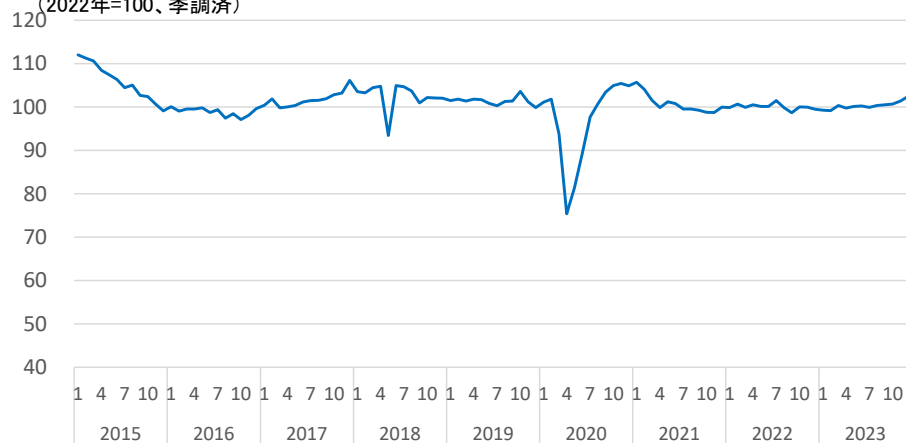


(出典) 伯地理統計院 (IBGE)

鉱工業生産指数の推移(月次)

鉱工業生産(12月)は前月比+1.1%、前年同月比+1.0%、2023年では前年比+0.2%となった。

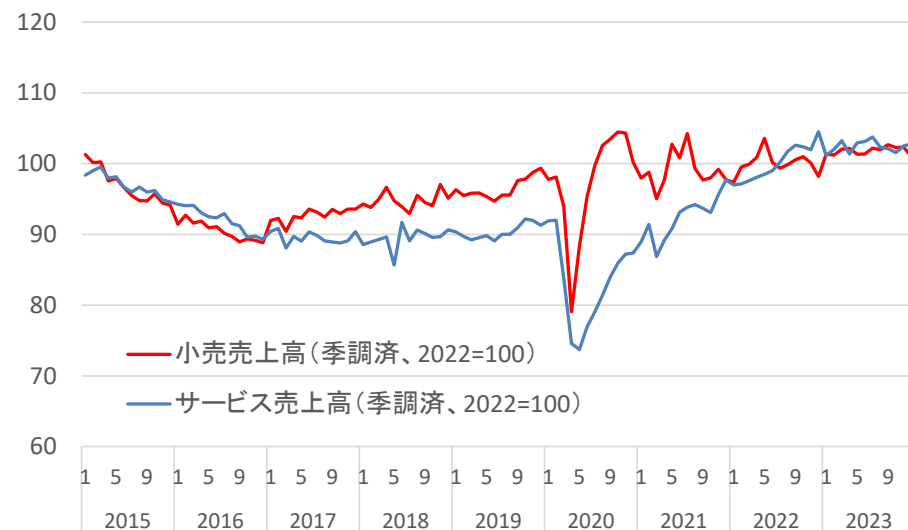
(2022年=100、季調済)



(出典) 伯地理統計院 (IBGE)

小売・サービス売上高指数の推移(月次)

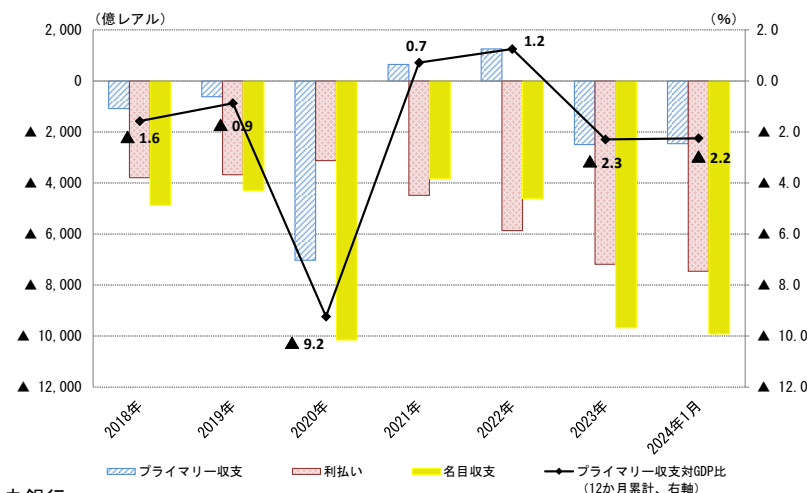
小売売上高(12月)は前月比▲1.3%、前年同月比+1.3%、2023年では前年比+1.7%となった。サービス売上高(12月)は前月比+0.9%、前年同月比▲2.0%、2023年では前年比+2.3%となった。



(出典) 伯地理統計院 (IBGE)

財政収支の推移(12か月累計)

公的部門(連邦政府、地方政府、公営企業)の2024年1月のプライマリー収支(税収等と政策的経費の収支)は▲2,460億レアルの赤字、利払い費は▲7,459億レアルで、これらを合計した名目収支は▲9,919億レアルとなった。

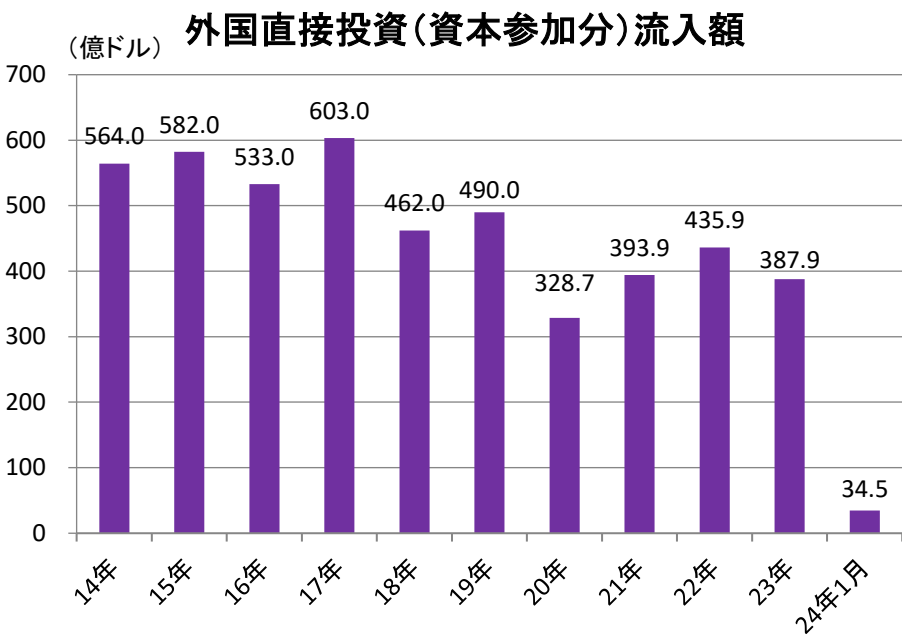


(出典) 伯中央銀行

国際収支の動向

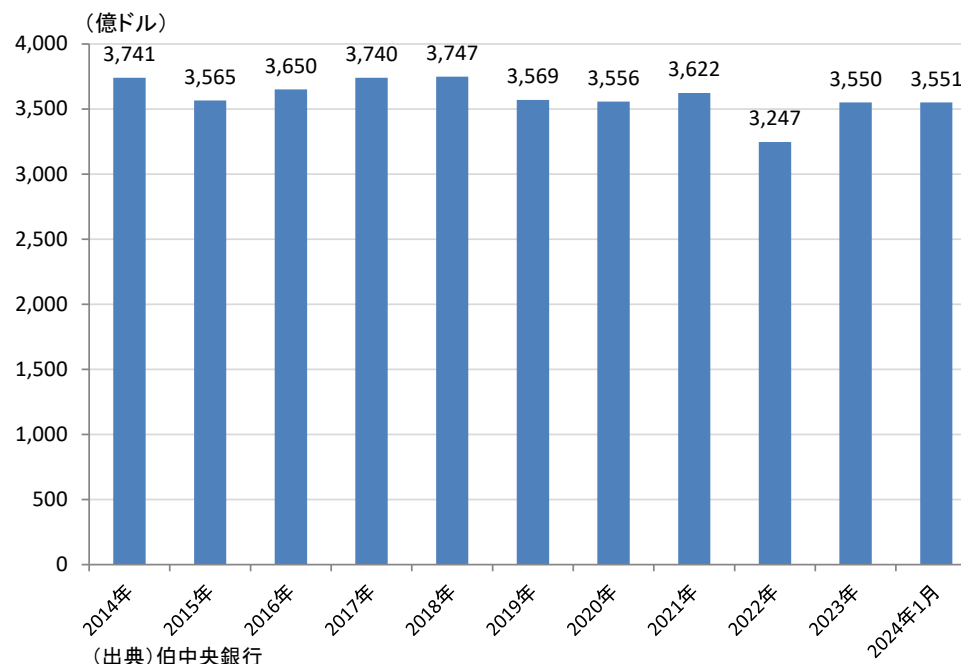
国際収支					
	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年 1月
経常収支	▲ 282	▲ 464	▲ 483	▲ 286	▲ 51
貿易収支	324	364	442	806	44
サービス収支	▲ 247	▲ 270	▲ 396	▲ 376	▲ 33
第1次所得収支	▲ 383	▲ 590	▲ 565	▲ 724	▲ 63
第2次所得収支	23	32	37	9	1
資本移転収支	41	2	2	3	0
金融収支	▲ 163	▲ 502	▲ 468	▲ 296	▲ 47
直接投資	▲ 413	▲ 302	▲ 413	▲ 337	▲ 61
対外直接投資	▲ 35	162	334	283	27
対内直接投資	383	464	746	620	87
証券投資	129	▲ 79	29	-66	-75
金融派生商品	54	▲ 10	▲ 20	▲ 80	4
その他投資	214	▲ 251	9	▲ 26	76

(出典) 伯中央銀行



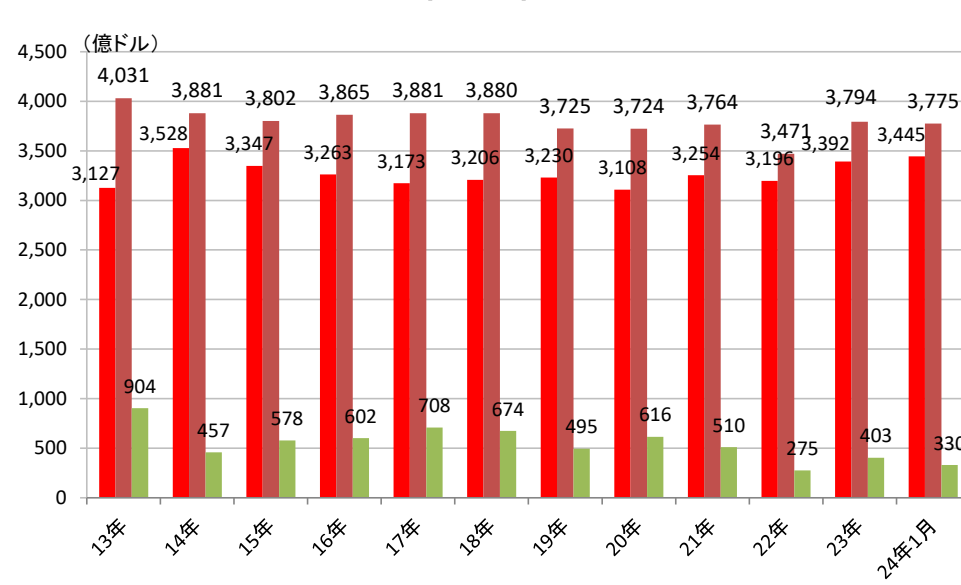
(出典) 伯中央銀行 ※貸付は除く

外貨準備高



(出典) 伯中央銀行

対外債務・債権収支



(出典) 伯中央銀行

■ 対外債務残高 ■ 対外債権残高 ■ 対外債務・債権収支

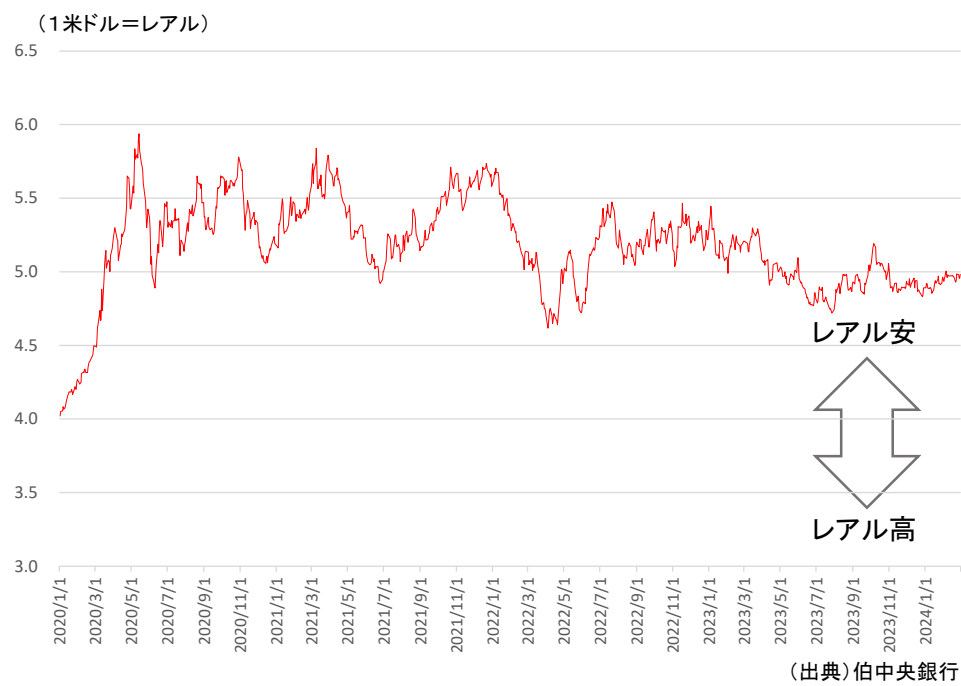
為替・株価の推移

月の為替市場は4.93～5.01レアル/ドルで推移。

月の前半は4.93～5.01レアル/ドルで推移。海外の金融政策の見通しを材料に上下した後、概ね横ばいで推移した。

月の後半は4.93～4.98レアル/ドルで推移。伯経済や海外の金融政策の見通し等を材料に上下し概ね横ばいで推移した。

為替の推移(対米ドル)

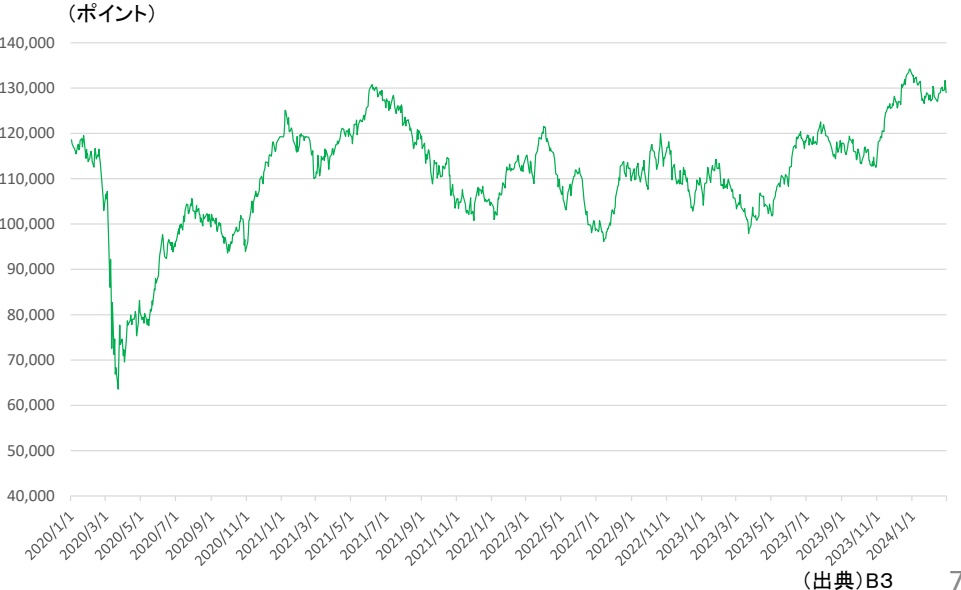


月の株式市場は127,018～131,689ポイントで推移。

月の前半は127,018～130,416ポイントで推移。内外の金融政策の見通しや国内経済の動向等を材料に上下し概ね横ばいで推移した。

月の後半は128,726～131,689ポイントで推移。資源価格の動向や海外経済の動向等を材料に概ね上昇傾向で推移した。

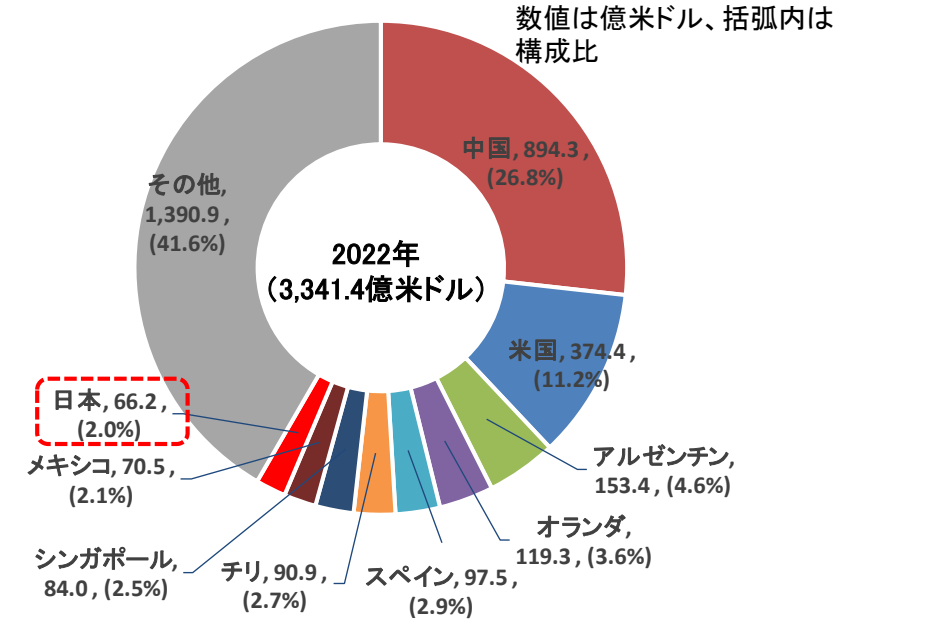
株価指数(Ibovespa)の推移



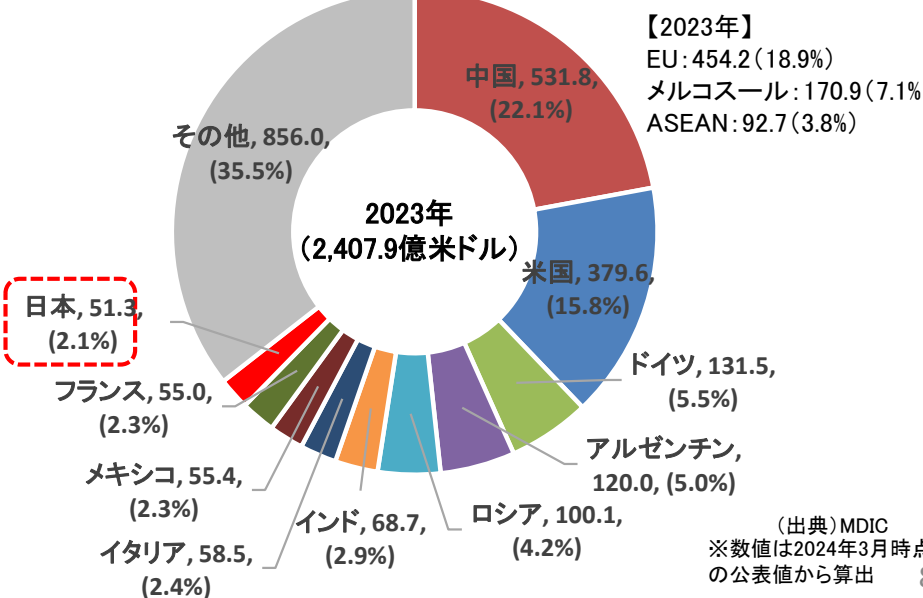
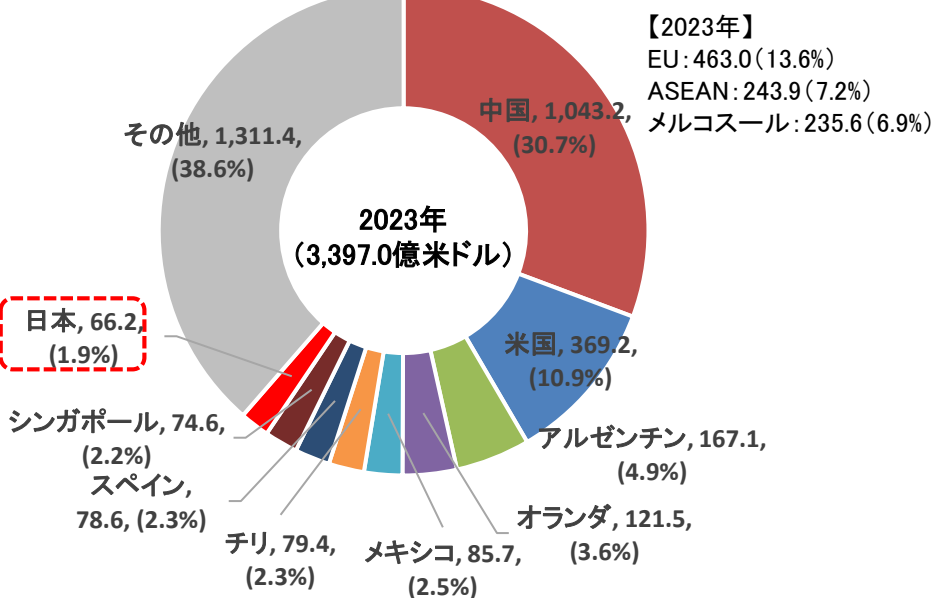
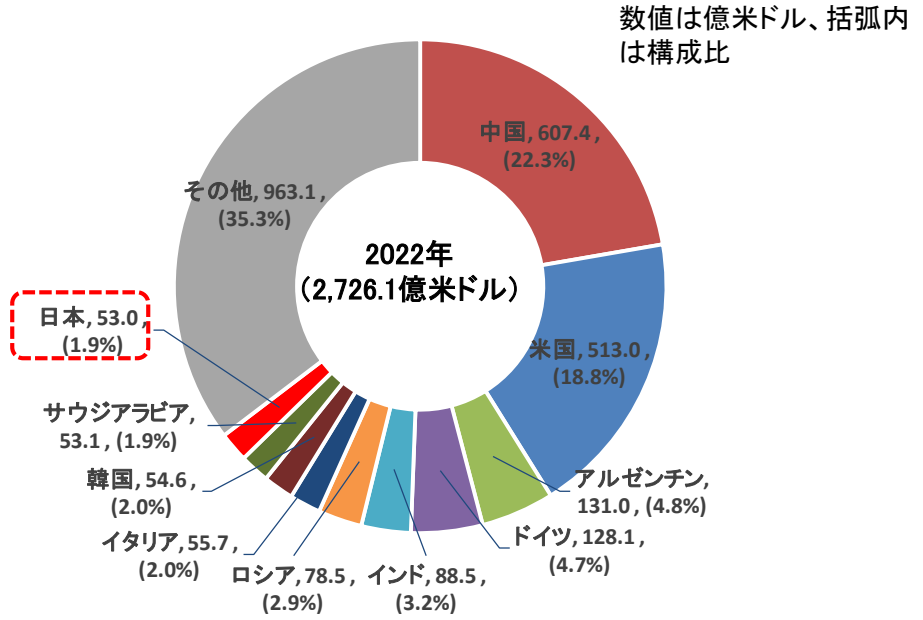
Ⅲ. 貿易動向

ブラジルの貿易は、輸出、輸入ともに国別では中国、米国が、経済圏別ではEUが上位に占めている。2023年においては、日本は貿易相手国として輸出で9位、輸入で10位となった。

輸出額と構成比(国別)



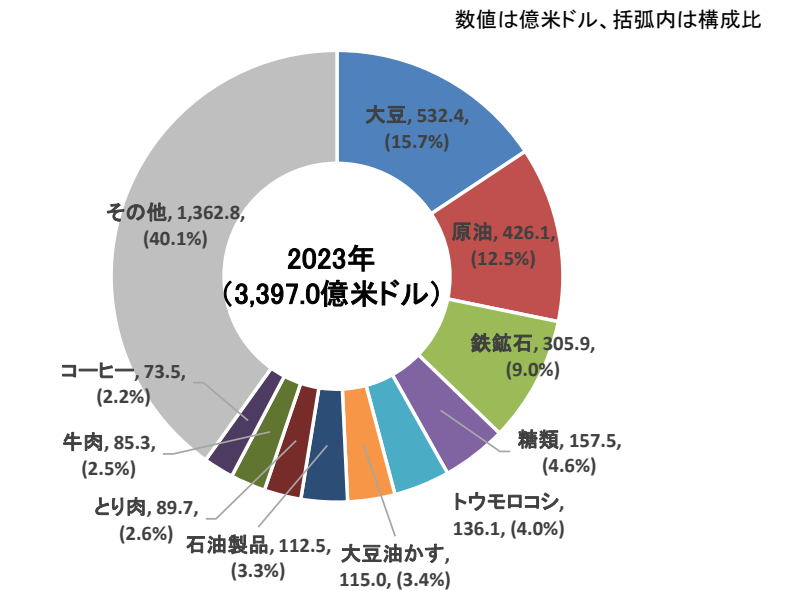
輸入額と構成比(国別)



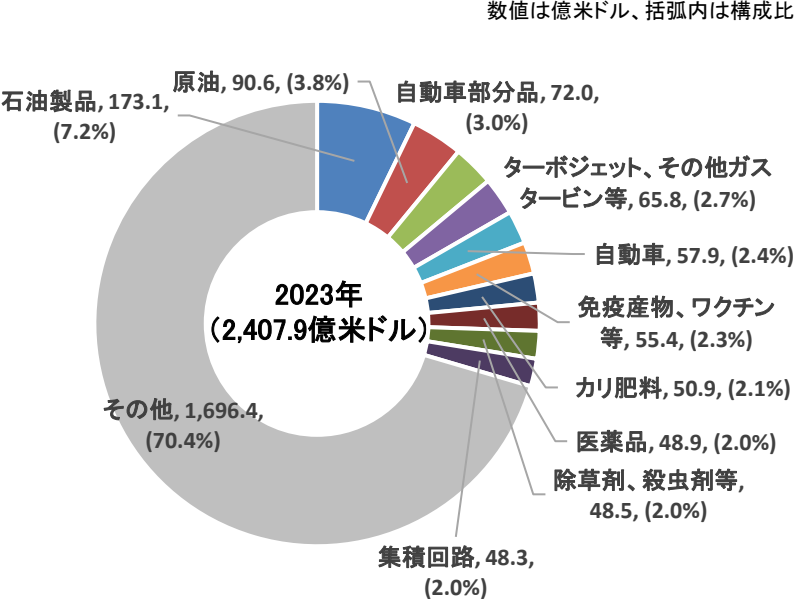
(出典) MDIC
※数値は2024年3月時点の公表値から算出

主要輸出品目は資源(原油、鉄鉱石等)、食品(大豆、トウモロコシ、糖類、肉類等)。主要輸入品目は石油製品、肥料、自動車関連、医療関連を中心に幅広い品目にわたっている。

ブラジルの主要輸出品目と主要相手国



ブラジルの主要輸入品目と主要相手国



【大豆】

	億米ドル	構成比(%)
全体	532.4	100.0
中国	389.2	73.1
アルゼンチン	20.3	3.8
スペイン	14.6	2.7
タイ	13.9	2.6
トルコ	9.8	1.8

【鉄鉱石】

	億米ドル	構成比(%)
全体	305.9	100.0
① 中国	196.8	64.3
② マレーシア	17.3	5.7
③ <u>日本</u>	12.3	4.0
④ バーレーン	11.0	3.6
⑤ オマーン	8.5	2.8

【原油】

	億米ドル	構成比(%)
全体	426.1	100.0
① 中国	197.8	46.4
② 米国	46.8	11.0
③ オランダ	35.4	8.3
④ スペイン	31.9	7.5
⑤ チリ	31.1	7.3

【糖類】

	億米ドル	構成比(%)
全体	157.5	100.0
① 中国	19.1	12.1
② インド	12.2	7.8
③ アルジェリア	9.3	5.9
④ インドネシア	8.2	5.2
⑤ サウジアラビア	8.1	5.1

【石油製品】

	億米ドル	構成比(%)
全体	173.1	100.0
① ロシア	52.6	30.4
② 米国	48.0	27.7
③ オランダ	13.8	8.0
④ UAE	9.9	5.7
⑤ スペイン	9.4	5.4

【自動車部分品】

	億米ドル	構成比(%)
全体	72.0	100.0
① 中国	9.9	13.7
② <u>日本</u>	9.4	13.0
③ ドイツ	7.0	9.7
④ メキシコ	6.9	9.6
⑤ 米国	5.6	7.8

【原油】

	億米ドル	構成比(%)
全体	90.6	100.0
① サウジアラビア	19.7	21.8
② 米国	16.0	17.7
③ アルジェリア	13.7	15.1
④ ガイアナ	9.8	10.9
⑤ アルゼンチン	8.5	9.4

【ターボジェット等】

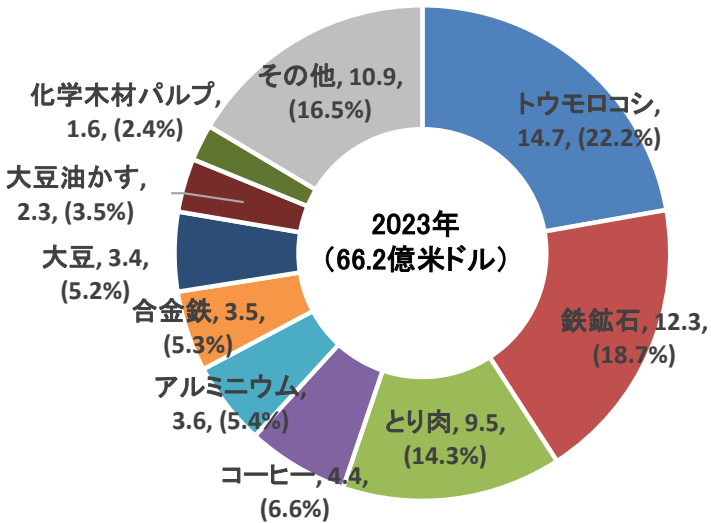
	億米ドル	構成比(%)
全体	65.8	100.0
① 米国	48.6	73.8
② フランス	9.2	14.0
③ カナダ	1.4	2.1
④ ドイツ	1.3	2.0
⑤ トルコ	1.3	1.9

対日貿易

対日貿易においては、主要輸出品目は資源（鉄鉱石、アルミニウム等）や食品（トウモロコシ、肉類、コーヒー、大豆等）、主要輸入品目は自動車関連、有機化学品、電子部品、医療関連等。

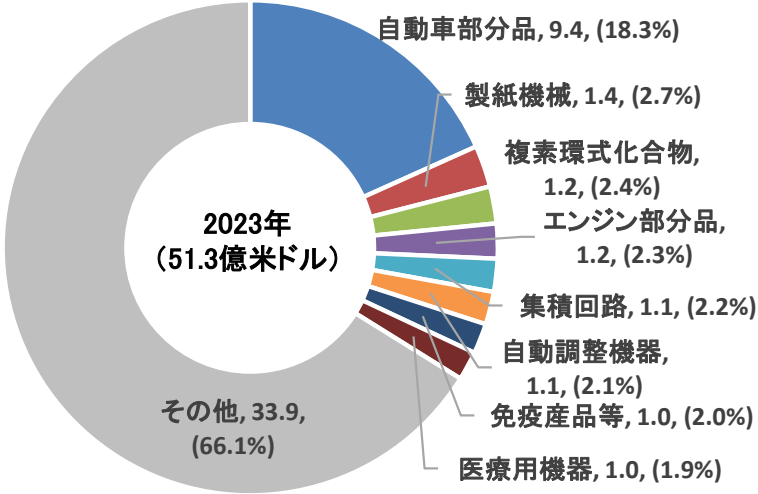
ブラジルの対日本主要輸出品目

数値は億米ドル、括弧内は構成比



ブラジルの対日本主要輸入品目

数値は億米ドル、括弧内は構成比



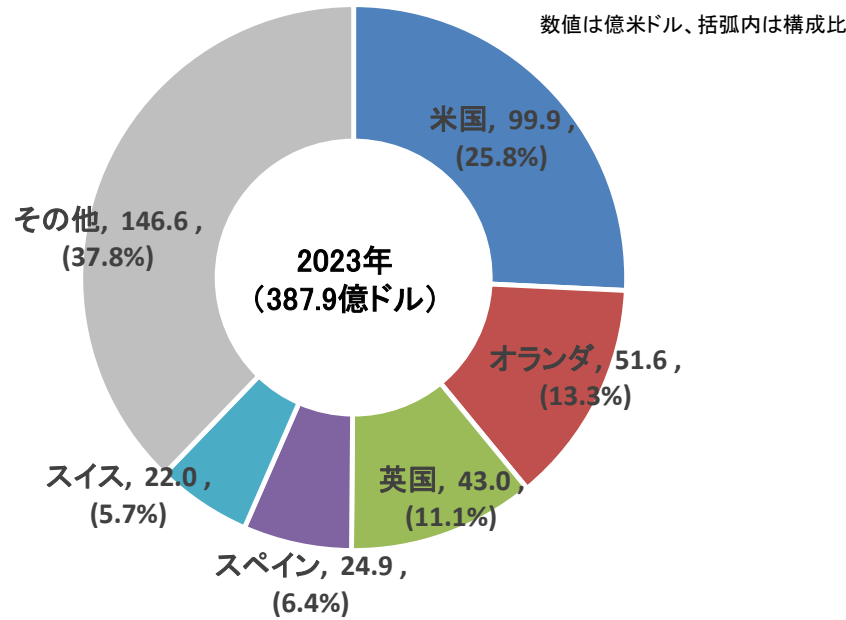
ブラジルの対日本主要輸出品目の日本側から見たブラジルの構成比(2022年) ※今後更新予定

※数値は2023年3月時点の公表値から算出

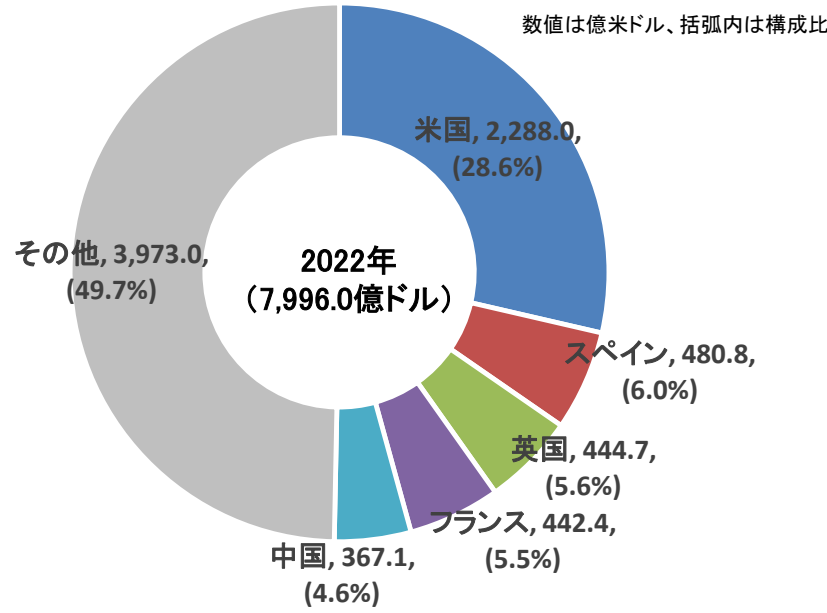
とうもろこし			【鉄鉱石】			【とり肉】			【アルミニウム】		
	億円	構成比 (%)		億円	構成比 (%)		億円	構成比 (%)		億円	構成比 (%)
総計	7,643.4	100.0	総計	18,050.2	100.0	総計	2,077.8	100.0	総計	9,206.4	100.0
① アメリカ合衆国	4,921.7	64.4	① オーストラリア	9,579.8	53.1	① <u>ブラジル</u>	1,407.5	67.7	① アラブ首長国連邦	1,711.6	18.6
② <u>ブラジル</u>	1,744.7	22.8	② <u>ブラジル</u>	5,818.4	32.2	② タイ	611.4	29.4	② ロシア	1,501.2	16.3
③ アルゼンチン	530.2	6.9	③ カナダ	1,313.9	7.3	③ アメリカ合衆国	33.6	1.6	③ オーストラリア	1,388.7	15.1
④ 南アフリカ共和国	379.6	5.0	④ 南アフリカ共和国	611.0	3.4	④ ハンガリー	6.2	0.3	④ ニュージーランド	681.0	7.4
⑤ ウクライナ	41.7	0.5	⑤ アメリカ合衆国	273.4	1.5	⑤ フランス	6.0	0.3	⑤ サウジアラビア	586.1	6.4
コーヒー			【大豆】			【合金鉄】			※日伯ともにHS番号4桁の数値。鉄鉱石2601、とうもろこし1005、とり肉0207、コーヒー0901、アルミニウム7601、合金鉄（フェオアロイ）7202、大豆1201		
	億円	構成比 (%)		億円	構成比 (%)		億円	構成比 (%)			
総計	2,333.3	100.0	総計	3,391.0	100.0	総計	4986.1	100.0			
① <u>ブラジル</u>	572.6	24.5	① アメリカ合衆国	2,420.1	71.4	① カザフスタン	956.3	19.2			
② コロンビア	396.4	17.0	② <u>ブラジル</u>	570.1	16.8	② 中華人民共和国	557.3	11.2			
③ ベトナム	306.6	13.1	③ カナダ	364.6	10.8	③ ロシア	533.6	10.7	(出典)財務省(日本) ※数値は2023年3月末時点の公表値から算出		
④ エチオピア	179.9	7.7	④ 中華人民共和国	33.4	1.0	④ <u>ブラジル</u>	500.8	10.0			
⑤ グアテマラ	175.8	7.5	⑤ ロシア	2.7	0.1	⑤ マレーシア	497.0	10.0			

IV. 日伯投資

対伯直接投資(フロー、資本参加分)の国別構成比

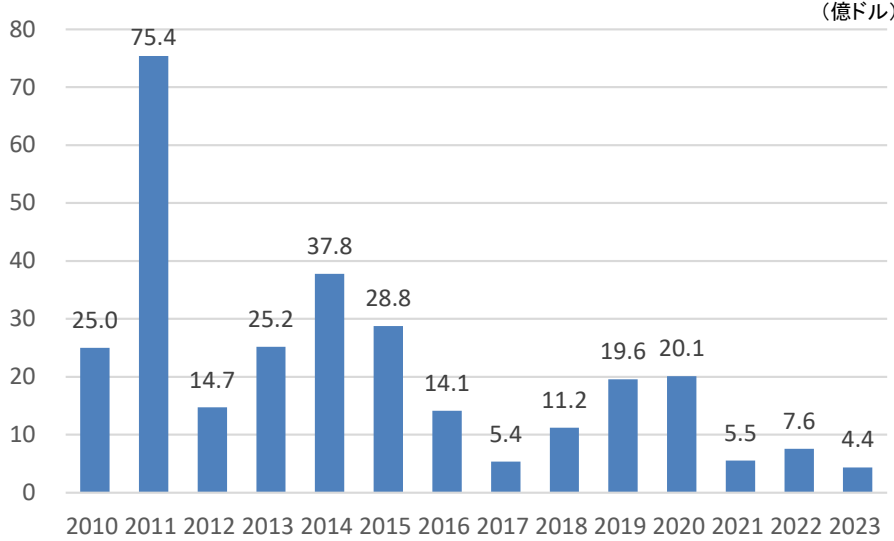


対伯直接投資(ストック、資本参加分)の国別構成比



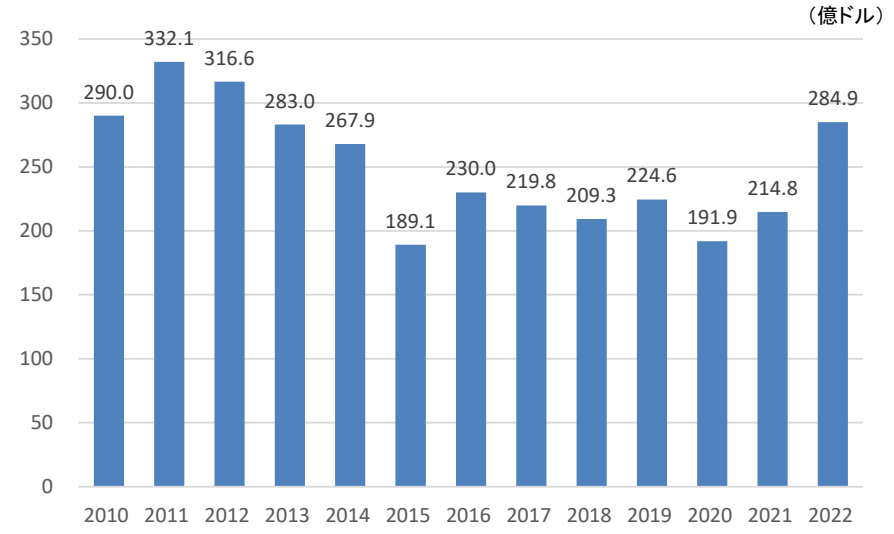
日本の対ブラジル直接投資(フロー、資本参加分)の推移

2023年: 4.4億ドル(構成比1.1%)、15番目の規模



日本の対ブラジル直接投資(ストック、資本参加分)の推移

2022年: 284.9億ドル(構成比3.6%)、8番目の規模



(出典) 伯中央銀行「Ingressos de investimentos diretos no país - Participação no capital - Distribuição por país imediato」

(出典) 伯中央銀行「Investimento direto no País - Participação no capital - Posição - distribuição por país do controlador final」2024年3月時点で公表されているのは2022年分まで。